

令和7年度

各教科 年間計画



豊島区立西池袋中学校

第三学年

- 1 国語
- 2 社会
- 3 数学
- 4 理科
- 5 音楽
- 6 美術
- 7 保健体育
- 8 技術・家庭科
- 9 外国語

評価・評定について

1 絶対評価（目標に準拠した評価）

一人一人が目標にどれだけ近づいたか（実現状況）（達成値）を総括的に評価し、「5・4・3・2・1」の5段階で表す。

2 観点別評価

学習指導要領の目標の実施状況（達成値）を観点ごとにA・B・Cの3段階で表す。
昨年度から、評価の観点は以下の3観点に変更。

【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】

3 評定

観点別評価の結果から、学習の状況（達成値）を総括的に評価したもので「5・4・3・2・1」の5段階で表す。

4 観点別学習状況の評価と評定の関係

観点別学習状況の評価			評 定		
十分満足できる	A	80%以上	特に高い程度のもの	5	90%以上
			十分満足できる	4	80%以上
おおむね満足できる	B	50%以上	おおむね満足できる	3	50%以上
努力を要する	C	50%未満	努力を要する	2	20%以上
			一層努力を要する	1	20%未満

「B」や「3」は、集団の中の中位ににいるということではなく、それぞれの学習結果が学習指導要領の目標を「おおむね満足できる」と判断できたことになる。

教科や単元により、以下のように観点ごとに割合を変化させて評定を算出することもある。

評価の観点	教科A	教科B	教科C
知識・技能	40%程度	30%程度	34%程度
思考・判断・表現	30%程度	30%程度	33%程度
主体的に学習に取り組む態度	30%程度	40%程度	33%程度

学習する単元によって、観点ごとの評価の割合が異なる
状況によって、計画より単元の実施時期を変更する可能性がある

「A・B・C」の数により、機械的に「5・4・3・2・1」の5段階の評定を出すことはしない。

ただし、次ページの観点別評価の場合は、右の評定になる。

3 観点の評価			評 定	3 観点の評価			評 定
A	A	A	5または4	A	C	C	3または2
A	A	B	5または4または3	B	B	B	3
A	A	C	4または3	B	B	C	3または2
A	B	B	4または3	B	C	C	3または2または1
A	B	C	3または2	C	C	C	2または1

5 評価の項目の例

授業観察、課題への取り組み方、ワークシート、レポート、ノート、作品、技能テスト、定期考査などの各種テスト等である。教科や単元によって異なる。

6 評価・評定の例

観点(割合)	満点	本人の得点	本人の達成値	観点別	本人の達成値	評定
知識・技能 (40%)	250	200	80%	A	※77.24%	3
思考・判断・表現力 (30%)	120	85	70.8%	B		
主体的に学習に 取り組む態度(30%)	100	80	80%	A		

※ 【本人の達成値】は各観点の達成値に割合を掛け合わせ、その後の値を足し合わせることで算出する。

$$\text{【本人の達成値】} = \text{知} (80 \times 0.4) + \text{思} (70.8 \times 0.3) + \text{態} (80 \times 0.3)$$

$$= 32 + 21.24 + 24 = 77.24$$

7 定期考査の実施時期（年間行事予定に記載）

8 学期ごとの評価の期間

1 学期	2 学期	学 年
4 月～7 月	<u>4 月～12 月</u>	4 月～3 月

評定は上記のように3回出す。

また教科により、単元や作品の製作状況によって、評価の対象期間が広がることもある。

<年間指導計画>

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学期	・世界はうつくしいと	・詩の朗読、スピードや音量や人数を変えた音読。 言葉の使い方、リズムや表現技法の理解。	○		○
	・握手	・作品の設定、現在と回想の展開の特徴、登場人物の心情理解、感想の交流、人の生き方の意見交流。	○	◎	
	・評価しながら聞く	・討論会の一部を聞きメモを取る、自分の意見と比較して聞く、表現のしかたを評価しながら聞く。	○	◎	○
	・季節のしおり 春	・春の気象や情景の詩歌に触れて鑑賞する。	◎		○
	・学びて時に之を習ふ	・論語を知る、孔子について調べた内容の確認と発表、漢文の基礎の復習と理解。	◎		○
	・情報整理のレッスン	・言葉がもつ価値の認識、情報の信頼性の確かめ方と必要性の理解。	○		○
	・修学旅行記の編集	・グループで編集会議、添える図と写真の話し合い、魅力的な紙面構成の工夫と編集の理解。	○	◎	○
	・熟語の読み方		◎		
	・作られた物語を超えて	・漢字2字の熟語の組み合わせ、音訓読みの理解。	○	◎	
	・説得力のある構成	・筆者の問題意識を捉え、主張と論理の展開を把握。 具体抽象、原因結果、意見と根拠の概念で整理。	○	◎	○
	・漢字に親しもう	・話題決めと情報集め、目的や相手を意識したスピーチと相互評価、スピーチの会。	◎		
	・文法 すいかは幾つ	・新出漢字の確認と練習問題。	◎		○
	・報道文を比較して読む	・文節、連文節、係り受け、既習文法事項の復習、練習問題による理解度の確認。 ・実用的文章の学習、大人用と子供用パンフレットの比較、相手と目的を踏まえた説明、考え交流。		◎	○
	・俳句の可能性		◎	◎	
	・伝わる表現をめざして	・俳句の朗読、季語、有季定型、自由律の理解、俳句鑑賞、好きな句の鑑賞文の発表交流。	○		○
	・和語、漢語、外来語	・時代や世代による異なる言葉の例の理解、適切な言い方について考える。	○		◎
	・読書を楽しむ	・和語、漢語、外来語、混種語の理解と、表現の比較、感じ方の違いについて意見交換。	◎		○
	・私の一冊を探しに	・図書館利用、ブックトーク。 ・本のさまざまな探し方を理解、読書の意義と効果、社会や人間や自然に対する自分の意見の確認。	○	◎	
	・季節のしおり 夏		◎		
	・書写 名文を書く	・夏の気象や言葉や風景の詩歌の鑑賞。 ・行書と調和した仮名、文字の大きさや字間の確認。		○	◎
2 学期	・挨拶 原爆の写真	・時代背景の確認、視覚教材視聴、表現の効果、意見交流。	○	◎	○
	・故郷	・時代背景の確認、展開の仕方の把握、心情の変化、作品の批判。	○	○	○
	・聞き上手になろう	・話し手と聞き手で役決めをし、質問を考え対談。	○	◎	
	・推敲 論理の展開	・既習事項の振り返り、練習問題。	○	○	○
	・言葉2 慣用句	・慣用句、ことわざ、故事成語の特徴と性質の理解、 ことわざの誤用例の検索と発表。	◎		◎
	・漢字の造語力	・新しい日本語ができる経緯を知る、翻訳語と新しい語の側面と造語力の解釈。	◎		
	・人工知能と未来	・文章の要旨把握、グループ討論、考えを文章表現。	○	◎	
	・説得力のある批評文	・題材選びと、視点決め、構成の工夫、推敲。		◎	○

2 学 期	・漢字に親しむ	・新出漢字確認と練習問題。	◎		
	・話し合いを効果的に	・話し合い例より意見と共通点と相違点を聞き取る。	○		
	・合意形成に向け話し合う	・合意形成の重要性を知り、課題を見つけ、グループで提案を考え、全体会議。	○	◎	
	・音読を楽しもう 初恋	・言葉の響きやリズムを味わい朗読、文語の理解、作者の思いの読み取り、感想交流。	○		
	・季節のしおり 秋	・秋の気象や情景の詩歌の鑑賞。	◎	○	○
	・和歌の世界	・万葉集、古今和歌集、新古今和歌集の作風理解、古文の言葉の響きやリズムを味わう。	◎		○
	・夏草 おくのほそ道	・ものの見方や考え方の読み取り、時代と作者調べ、俳句鑑賞、暗唱。	◎		
	・古典名句、名言集	・歴史的仮名遣いに注意して古典を読む、気に入った名句名言を選択し記録、発表。	○	◎	
	・誰かの代わりに	・筆者の考えに共感、反対、疑問の観点で印をつける、筆者の考えについて話し合い意見交流。	◎	◎	
	・情報を読み取って文章を書く	・グラフから客観的に情報を読み取り分析、小論文を書き、助言と意見交換。	○	○	○
	・漢字のまとめ	・既習漢字復習、同音異義語、同訓異字の練習問題。		◎	
	・文法 「ない」の違い	・形容詞、形容詞の一部、助動詞の区別と理解。	◎		
	・本は世界の扉	・文章の読み比べ、読書が人生や社会の関わりをどのように支えたか、考えのまとめ。	○		
	・季節のしおり 冬	・冬の気象、情景を詠んだ詩歌の鑑賞。	◎	○	○
	・書写 文字の使い分け 毛筆書き初め 楷書と行書の書き分け	・基礎の復習と確認、書き初め。	◎	◎	
	・温かいスープ	・時代背景と筆者の状況の把握、世界状況の想像、国際性について考えを深める。	○	○	○
	・私を束ねないで	・言葉や表現上の特徴、構成や表現技法の気づきの発表、作者の思いの理解、自分の可能性を考える。	○	◎	
	・三年間の歩み振り返り	・三年間の学び総括のテーマ決め、卒業文集作業。	◎		
	・漢字に親しもう	・漢字の総復習、練習問題。	◎		○
	・学習の振り返り	・小説通読と課題学習。	○	○	
	・書写 私の好きな言葉	・書体、筆記具、用紙を決めて好きな言葉を書き、卒業記念作品とする。		◎	◎

＜評価の観点と割合＞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使おうとしている。
30～40%	30～40%	30～40%

＜令和 7 年度に関する特記事項＞

- ・単元によって評価の割合は異なる。

＜年間指導計画＞

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学期	【歴史】 ・日本の近代化 ・二度の世界大戦と日本 ・現代に続く日本と世界	・開国と幕府の終わり（黒船来航の衝撃と開国、江戸幕府の滅亡） ・明治政府による「近代化」の始まり（明治維新） ・近代国家への歩み ・帝国主義と日本（日清・日露戦争） ・アジアの強国の光と影（近代日本の社会と文化） ・第一次世界大戦と民族独立の動き ・高まるデモクラシーの意識 ・戦争に向かう世論 ・第二次世界大戦の戦禍 ・敗戦から立ち直る日本 ・世界の多極化と日本の成長	◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎
	【公民】 ・現代社会と私たち	・現代社会の特色と私たち ・私たちの生活と文化 ・現代社会の見方や考え方	◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎
2 学期	【公民】 ・個人の尊重と日本国憲法	・人権と日本国憲法 ・人権と共生社会 ・これからの人権保障	◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎
	・現代の民主政治と社会	・現代の民主政治 ・国の政治と仕組み ・地方自治と私たち	◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎
	・私たちの暮らしと経済	・消費生活と市場経済 ・生産と労働	◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎
3 学期	・地球社会と私たち	・市場経済の仕組みと金融 ・財政と国民の福祉 ・これからの経済と社会	◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎
		・国際社会の仕組み ・さまざまな国際問題 ・これからの地球社会と日本	◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎

＜評価の観点と割合＞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【歴史】 日本の近代化、二度の世界大戦と日本などについて理解している。 【公民】 現代社会、政治、経済、国際社会について理解している。	【歴史】 日本の近代化、二度の世界大戦と日本などについて、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察構想し、表現している。 【公民】 現代社会、政治、経済、国際社会について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	【歴史】 日本の近代化、二度の世界大戦と日本などについて、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究、解決しようとしているとともに、公民的分野へのつながりを見いだそうとしている。 【公民】 現代社会、政治、経済、国際社会について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究、解決しようとしている。
35%	35%	30%

＜令和7年度に関する特記事項＞

- ・生徒の興味関心を引く実物教材や写真資料、新聞資料等を活用するとともに、授業プリントを工夫し、必要な情報を的確に処理し、定着できるように授業作りを行う。
- ・定期考査以外にも、小テストを実施し基礎の定着を図る。
- ・学んだ知識を基にグループ学習や発表学習等も取り入れ、思考力や表現力の向上に努める。
- ・定期考査にて時事問題を取り入れ、世の中で起きている事件・事象に興味関心を持たせる指導を行う。

<年間指導計画>

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学期	1. 多項式				
	・多項式の計算	・多項式と単項式の乗除, 多項式の乗法, 乗法公式	◎	◎	◎
	・因数分解	・因数分解, 公式を利用する因数分解	◎	◎	◎
	・式の計算の利用	・式の計算の利用	◎	◎	◎
1 学期	2. 平方根				
	・平方根	・平方根(平方根の意味と大小, 有理数, 無理数)	◎	◎	◎
	・根号をふくむ式の計算	・根号をふくむ式の乗除, 根号をふくむ式の加減, 根号をふくむ式のいろいろな計算	◎	◎	◎
	・平方根の利用	・平方根の利用	◎	◎	◎
1 学期	3. 2次方程式				
	・2次方程式とその解き方	・2次方程式とその解, 平方根の考えを使った解き方, 2次方程式の解の公式, 因数分解を使った解き方, いろいろな2次方程式	◎	◎	◎
2 学期	・2次方程式の利用	・2次方程式の利用	◎	◎	◎
	4. 関数 $y=ax^2$				
	・関数 $y=ax^2$	・関数 $y=ax^2$	◎	◎	◎
	・関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方	・関数 $y=ax^2$ のグラフ, 関数 $y=ax^2$ の値の変化	◎	◎	◎
	・いろいろな関数の利用	・関数の利用, いろいろな関数	◎	◎	◎
	5. 相似な図形				
	・相似な図形	・相似な図形, 三角形の相似条件, 相似の利用	◎	◎	◎
	・平行線と比	・三角形と比, 平行線と比	◎	◎	◎
	・相似な図形の面積と体積	・相似な図形の相似比と面積比, 相似な立体の表面積の比や体積比	◎	◎	◎
	6. 円				
	・円周角の定理	・円周角の定理, 円周角の定理の逆	◎	◎	◎
	・円周角の定理の利用	・円周角の定理の利用	◎	◎	◎
3 学期	7. 三平方の定理				
	・三平方の定理	・三平方の定理, 三平方の定理の逆	◎	◎	◎
	・三平方の定理の利用	・三平方の定理の利用, いろいろな問題	◎	◎	◎
3 学期	8. 標本調査				
	・標本調査	・標本調査, 標本調査の利用	◎	◎	◎

<評価の観点と割合>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。
40%程度	30%程度	30%程度

<令和7年度に関する特記事項>

- ・学習する単位によって観点ごとの評価の割合に変化がある。
- ・少人数・習熟度別指導を実施し、定期考査後にクラスの変更を行う。

理科1

学期	単元名	主な学習活動	評価			理
			知	思	態	
1学期	単元1 化学変化とイオン	①水溶液と電流	◎	◎	○	科
	1章 水溶液とイオン 2章 酸・アルカリとイオン	②塩化銅水溶液の中で起こる変化	◎	◎	○	
		③イオンと原子のなり立ち①酸性やアルカリ性の水溶液の性質	◎	◎	◎	
		②酸性・アルカリ性の正体				
		③酸とアルカリを混ぜ合わせた時の変化				
	3章 化学変化と電池	①電解質の水溶液の中の金属板と電流				
		②金属のイオンへのなりやすさのちがい				
		③ダニエル電池				
		④身のまわりの電池				
	探究活動	水溶液の正体	◎	◎	◎	
1学期	単元2 生命の連続性	①生物の成長と細胞の変化				理
	1章 生物の成長と生殖	②無性生殖				
		③有性生殖				
		④染色体の受けつがれ方				
	2章 遺伝の規則性と遺伝子	①遺伝の規則性				
		②遺伝子の本体と研究成果の活用				
	3章 生物の多様性と進化	①生物の歴史				
		②水中から陸上へ				
		③さまざまな進化の証拠				
		④進化と多様性				
1学期	単元3 運動とエネルギー	① 力の合成	◎	○	○	理
	1章 力の合成と分解	② 力の分解	◎	○	○	
	2章 水中の物体に加わる力	浮力と水圧	◎	◎	○	
	3章 物体の運動	① 運動の表し方(記録タイマーの使用法)	◎	◎	○	
		② 力と運動(等速直線運動や慣性など)	◎	◎	○	
		③ 作用と反作用	◎	○	○	
	4章 仕事とエネルギー	① 仕事(仕事の大きさ・原理・仕事率)	◎	◎	○	
		② エネルギー i 位置エネルギー	◎	◎	○	
		ii 運動エネルギー	◎	◎	○	
		③ 力学的エネルギーの保存	◎	◎	○	
		④ エネルギーとその移り変わり	◎	◎	○	
		⑤ エネルギーの保存	◎	○	○	
		⑥ 熱エネルギーとその利用	◎		◎	
	探究活動	エネルギー変換効率を調べよう	○	◎	◎	
	単元5 地球と宇宙	① 太陽の1日の動き	◎	◎	○	
	1章 天体の動き	② 星の1日の動き	◎	◎	○	
		③ 天体の1年の動き	◎	◎	○	
	2章 月と惑星の運動	① 地球の運動と季節の変化	◎	◎	○	
		② 月の運動と見え方	◎	◎	○	
		③ 惑星の運動と見え方	◎	◎	○	
	3章 宇宙の中の地球	① 太陽のすがた	◎		○	
		② 太陽系のすがた	◎		○	
		③ 銀河系と宇宙の広がり	◎		○	

	1・2学年時の復習	各分野の復習並びに受験対策	◎	◎	○
3学期	単元6 地球と私たちの未来 のために 1章 自然環境と人間	① 自然環境の変化・保全 ② 地域の自然災害	○	◎	○
	2章 科学技術と人間	① エネルギーの利用とその課題 ② 放射線の性質 ③ いろいろな物質の利用 ④ くらしを支える科学技術	○ ◎ ○ ○	◎ ○ ◎ ◎	◎ ○ ◎ ◎
	終章 これからの私たちのくらし	持続可能な社会にするための方法	○	◎	◎
	理科の学習の復習	受験対策演習	◎	◎	○
	単元4 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン	① 電解質と非電解質 ② 電解質水溶液に電流が流れる際の変化 ③ 原子とイオン	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎	○ ○ ○
	2章 化学変化と電池	① イオンへのなりやすさ ② 電池とイオン ③ いろいろな電池	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎	○ ○ ◎
	1・2学年時の復習	各分野の復習並びに受験対策	◎	◎	○

学期	単元名	主な学習活動	評価		
1学期	単元2 生命のつながり	① 生物の成長と細胞	◎	◎	○
	1章 生物の成長とふえ方	② 生物の子孫の残し方	◎	◎	○
	2章 遺伝の規則性と遺伝子	① 遺伝の規則性 ② 遺伝子	◎ ◎	◎ ○	○ ◎
	1・2学年時の復習	各分野の復習並びに受験対策	◎	◎	○
2学期	3章 生物の種類の多様性と進化	① 生命の連続性 ② 進化の証拠 ③ 生物の進化と環境	◎ ○ ○	◎ ◎ ◎	○ ○ ○
	探究活動	遺伝子を扱う技術について考えよう	○	◎	◎
	単元3 自然界のつながり 1章 生物どうしのつながり	① 食物連鎖 ② 生物どうしのつながり	◎ ◎	○ ◎	○ ○
	1・2学年時の復習	各分野の復習並びに受験対策	◎	◎	○
3学期	2章 自然界を循環する物質	① 微生物による物質の分解 ② 物質の循環	◎ ◎	○ ◎	○ ○
	探究活動	身のまわりの生物の関わりを考えよう	○	◎	◎
	理科の学習の復習	受験対策演習	◎	◎	○

<評価の観点と割合>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
30～40%程度	30～40%程度	30～40%程度

<年間指導計画>

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学 期	詩や曲の背景を理解して歌おう	・歌唱（日本の歌「花」「花の街」、「アメージンググレイス」他）		◎	◎
	作曲者の思いを感じ取りながら音楽を味わおう	・鑑賞（「ブルタバ（モルダウ）」）	◎		◎
	創作をしよう	・リズム創作	◎	◎	◎
2 学 期	曲想を生かして	・歌唱（「風の中の青春」他）		◎	◎
	作曲者の思いを感じ取りながら	・鑑賞（「ボレロ」）	◎		◎
	楽器を演奏しよう 能に親しみ、その音楽を味わおう	・西洋音楽史 ・器楽（和楽器） ・鑑賞（「能」）		◎	◎
3 学 期	情景を思い浮かべて	・歌唱（「旅立ちの日に」他）		◎	◎

<評価の観点と割合>

知識・技能	思考・判断	主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけている。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しむ。
34％程度	33％程度	33％程度

<年間指導計画>

学期	題材名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1学期	「篆刻」	・篆書体で印面を作る ・石を削り、持ち手の彫刻をする。	◎	◎	◎
	「仏像について」	・仏像の種類や修学旅行で訪れる寺社について学ぶ。	◎		◎
	定期考査	1学期に学んだこと	○		○
2学期	「浮世絵と西洋美術」	・作品鑑賞 ・浮世絵が西洋美術に与えた影響について	◎		○
	「扇子」	・浮世絵をアレンジして扇子を制作する。	◎	◎	○
	定期考査	1～2学期に学んだこと	○		○
3学期	「タイポグラフィー自画像」	・4文字の漢字を使い、自画像を制作する	◎	◎	◎
	「サンドブラストガラス」				

<評価の観点と割合>

題材により、以下のように観点ごとに割合を変化させて評定を算出する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を工夫し、道具を適切に扱える。 歴史や生活の中で美術の役割を理解し、知識を身につける。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 課題に応じて、必要な資料や材料の準備を行えている。 経験を踏まえて、自ら見通しをたて準備や工夫を行う。
30～40%程度	30～40%程度	30～40%程度

＜年間指導計画＞

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1学期	・体づくり運動 ・陸上競技 ・水泳	・体ほぐしの運動、実生活に生かす運動の計画 ・運動会練習、体力テスト測定 ・短距離走、リレー ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ	○	◎	◎
			◎	○	◎
			○	○	◎
			◎	◎	◎
2学期	・球技 ネット型 ・球技 ゴール型 ・陸上競技 ・ダンス	・バレーボール、バドミントン、卓球 ・バスケットボール、サッカー、ハンドボール ・長距離走 ・創作ダンス、現代的なリズムのダンス	◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎
			◎	◎	◎
3学期	・球技 ネット型	・バレーボール、バドミントン、卓球 ・球技大会	◎	◎	◎
			○	◎	◎
通年	・体育理論 ・保健	・文化としてのスポーツ ・環境の健康への影響	◎	◎	◎
			◎	◎	◎

＜評価の観点と割合＞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに基本的な技能を身に付けている。	自己仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
: : の割合とする		

＜令和7年度に関する特記事項＞

- ・学習する単元によって、観点ごとの評価の割合が異なる。
- ・状況によって、単元を変更する可能性がある。

令和7年度 第3学年 技術科年間指導計画・評価

豊島区立西池袋中学校

<年間指導計画>

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	主
1 学期	・D 情報に関する技術 計測・制御のプログラミングによる問題解決	・情報リテラシー ・計測、制御システムとは ・問題の発見、課題の設定 ・計測、制御システム機器の製作	◎ ◎ ○ ○	○ ○ ◎ ○	◎ ○ ○ ◎
2 学期	・D 情報に関する技術 計測・制御のプログラミングによる問題解決	・計測、制御システム機器の製作 ・計測、制御システムのプログラムの制作	○ ◎	○ ◎	◎ ◎
3 学期	・D 情報に関する技術 社会の発展と情報の技術 ・技術分野の学習を終えて	・問題解決の評価、改善、修正 ・情報の技術の最適化 ・これからの情報の技術 ・SDGsと技術との関わり ・学んだことを社会に生かす Society5.0 スマートシティ	○ ○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	○ ○ ◎ ○ ◎

<評価の観点と割合>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・設計に基づき、簡単なプログラムを作成できる。 ・適切なソフトウェアを用いて多様な表現手段を複合し、表現や発信ができる。 ・情報処理の手順についての知識を身に付けている。	・情報に関する技術の課題を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに、適切な解決策を見いだしている。	・情報に関する技術の課題を進んで見つけ、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに、適切な解決策を示そうとしている
34%	33%	33%

※各観点の評価を得点化し、技術・家庭科の割合を50%ずつとして加算する。

<年間指導計画>

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1学期	A 家族・家庭生活 ★幼児の遊びを豊かにする物の製作 2. 幼児の生活と家族 ①幼児のころと今の自分 ②幼児の体の発達 ③幼児の心の発達 ④発達にとってのおとなの役割 ⑤遊びが必要なわけ ⑥遊びを支える環境	・遊び道具の製作を通して、幼児の遊び道具の役割や遊びを支える環境について考え、遊びの意義を理解する ・幼児期への関心をもつ。 ・幼児の身体の発育について、発達の方向性や順序性とともに、個人差があることを理解する。 ・幼児の言語・認知・情緒・社会性等の発達について理解する。 ・子どもが育つ環境としての家族や周囲のおとなの役割について理解する。	◎	○	◎
2学期	2. 中学生に必要な栄養を満たす食事 ②栄養素のはたらきと6つの基礎食品群 ③栄養バランスを目で見て判断 3. さまざまな食品とのかの選択 ①生鮮食品の選択と保存 ②加工食品の選択 ③食品の安全と情報	・中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。 ・食品は栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。 ・中学生が1日にとりたい食品と分量を知る。 ・1回の食事を目で見えて栄養のバランスがとれているか判断できるようにする。 ・生鮮食品の特徴がわかる。 ・目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる ・加工食品の特徴がわかる。 ・目的に応じて加工食品を選択できる ・加工食品の特徴がわかる。 ・目的に応じて加工食品を選択できる。 ・食品を選択するとき、食品の安全や情報に関心をもって選択できる。	◎ ◎	◎ ◎	○ ○
3学期	A 家族・家庭生活 1. 自分の成長と家族・家庭 ②わたしの生活と家族・家庭 ③家庭を支える社会 ④中学生にとっての家族持続可能な家庭生活	・家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。 ・自分や家族の生活は家庭内や家庭外の活動が支えていることに気づく。 ・家族には互いの立場や役割があり、協力することで家族関係をよりよくできることを理解する。 ・誰もが尊重される家庭・地域の生活をめざして、課題を見つけ、実践的に取り組むようにする。	◎ ○	◎ ◎	○ ◎

<評価の観点と割合>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と稼働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
33～35%程度	33～35%程度	33～35%程度

<年間指導計画>

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学期	・U1 Virtual Safari Tour	・受け身の文, let/help+人・もの+動詞の原形, tell+人+that+文について正確に理解し、活用する。 ・質問に答えるために、絶滅のおそれのある動物について書かれた記事から、必要な情報を読み取り、読んだ記事の内容と自分の意見を適切に発表する。	◎	◎	◎
	・計画を立てよう	・be going to、曜日や時刻を表す語句、want to など、予定や希望を表す表現や語句の意味や働きを理解し、活用する。	◎	◎	◎
	・U2 Our School Trip	・現在完了形の「完了」や「経験」の用法を正確に理解し、活用する。 ・話し合いから、それぞれの意見や結論を聞き取る。	◎	◎	◎
	・留守番電話	・留守番電話の伝言を聞いて、用件を聞き取り、伝言の用件に応じたやり取りをする。	○	○	○
	・U3 Lessons From Hiroshima	・現在完了形の「継続」、現在完了進行形、「疑問詞+to+動詞の原形」について正確に理解し、活用する。 ・平和のためにできることを考えるきっかけにするために、手記を読み、それをもとに感想や考えを整理してレポートを書く。	◎	◎	◎
	・現在完了形／現在完了進行形	・現在完了形や現在完了進行形の使用場面、意味、文の形を正確に理解する。	○		
	・Let's Read 1 Visas for 6,000 Lives	・杉原千畝の伝記を読み、書かれていることと自分の考えを整理し、伝え合う。	◎	◎	◎
	・学校生活について意見をまとめよう	・海外の中学生たちと意見交換をするために、学校生活について書かれた意見文を読み取り、それをもとに話し合う。	○		
	・Speak Up!	・町の歴史についての説明から、過去と現在の違いなどを聞き取り、過去の町の様子を現在の町と比べるなどして話することができる。 ・50 年後の町の変化について予想したことを伝えるために、自分の考えを整理して、適切な表現を使って発表している。	○	○	○
			○		○
2 学期	・U4 AI Technology and Language	・関係代名詞 which, who, that が主語となる構文について正確に理解し、活用する。 ・投稿文からそれぞれの意見の要点を読み取り、自分の意見を整理し、理由や例とともに文章の組み立てを考えて書いている。	◎	◎	◎
	・Let's Read 2 Living with Robots	・現代社会におけるロボットの働きについて知るために、段落ごとの要点を捉え、説明文の要旨を読み取り、役立つロボットについて、具体的な説明を入れて、自分の考えを伝える。	◎	◎	◎
	・レシビ	・レシビから、必要な情報を読み取る。	○	○	○
	・U5 My Dreams for the Future	・関係代名詞 which, that が目的語となる文や後置修飾について理解し、活用する。 ・世界にはどんな課題があるのかを考えるために、プレゼンテーションの原稿を読んで、話の流れを読み取り、お互いの考えを知り合い、原稿を読んで感じたことや考えたことを適切な表現を使って伝え合う。	◎	◎	◎
	・講演	・講演を聞いて、大まかな内容を捉え、感想を書く。	○		
	・U6 The Chorus Contest	・動詞の-ing 形や過去分詞による後置修飾や間接疑問文について正確に理解し、活用する。 ・旅立つ友達に贈るプレゼントの参考にするために、登場人物のおすすめの作品についての会話を聞いて、適切に内容を理解し、活用する。	◎	◎	◎
	・後置修飾	・後置修飾の使用場面、意味、文の形を正確に理解している。	○	○	○
	・持続可能な社会に向けてレポートしよう	・世界の 10 代の若者による持続可能な社会にむけた取組について知り、問題意識とその解決のための取組などを伝えたい情報を整理して持続可能な社会に向けた取組の報告書を書く。	○	○	○
	・If the World Were a Village of 100 People	・世界を 100 人の村にたとえた文章から、さまざまな情報を読み取り、友達と話し合うために、文章を読んで気になった部分や驚いた部分に線を引き、自分の感想や考えをもつ。	○	○	○

3 学 期	・U7 Tina's Speech	・If…の仮定法の構文について正確に理解し、活用する。 ・話し手がいちばん伝えたいことを知るために、スピーチを聞いて内容を適切に理解し、「今の自分」を伝えるために、テーマと話す内容を整理して、適切な表現を使ってスピーチをする。 ・スピーチ原稿を読んで、内容を理解し、共感できる部分と共感できない部分について、話し手の考えと自分の考えを整理しながら、自分の考えを伝えたり相手に質問したりする。	◎	◎	◎
	・Let's Read 3 Changing the World	・話し手の主張を知るために、繰り返し出てくる言葉などに注意しながらスピーチ原稿を読んで、要点を捉えている。	◎	◎	◎
	・仮定法	・I wish…の仮定法の構文について正確に理解し、活用する。	◎	◎	◎
	・U8 Goodbye, Tina	・書き手がいちばん伝えたいことを知るために、大切な人に宛てた手紙の内容を読み取り、自分の気持ちを伝えるために、適切な表現を使って手紙を書く。	◎	◎	◎
	・自分たちのこれからに言葉を贈ろう	・書き手の気持ちや表現の工夫を知るために、単語を織り込んだ詩を読んで内容を理解し、好きな言葉を織り込んで、適切な表現を使って詩を書く。	○	○	○
	・Elections in Norway ・Fight for Equality	・日本とノルウェーの選挙の違いを知るために、記事を読みおおまかな内容を捉える。 ・人種差別に立ち向かった少女について知るために伝記を読み、おおまかな内容を捉える。	○	○	○

<評価の観点と割合>

知識・技能	思考・判断	主体的に学習に取り組む態度
・英語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて必要な知識、技能を身に付けている。 ・英語の学習を通して、文の構造や語句など、言語の働きや役割などを理解している。	・具体的で身近な話題について、互いの考えや気持ちなどを英語で適切に伝えあっている。 ・聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて、自分の意見や考えを話したり書いたりして表現しようとしている。 ・知識や技能を獲得し、思考力・判断力・表現力を身に付けるために、粘り強く取り組んでいる。 ・獲得した知識や技能を、場面に応じて活用し、授業に取り組んでいる。
40%程度	30%程度	30%程度

<令和7年度に関する特記事項>

- ・学習する単位によって観点ごとの評価の割合に変化がある。